

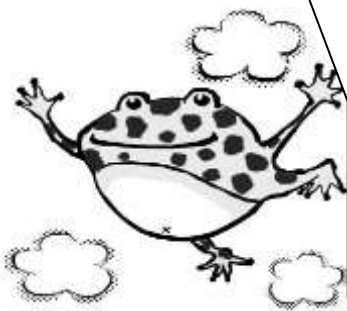
かえる便り 30年度14号

平成30年7月20日

暑中お見舞い申し上げます。大雨の後は大変な猛暑ですが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

様々な活動を通して益田地域に貢献している教え子があります。彼が行っている一つに講演会があります。教育者や冒険家など色々な分野で活躍されている人を講師に招き、定期的に講演会を開催しています。彼が素晴らしいのは、その講師さんに直接会って話を聞く、講演会に参加して内容を確認し招いていることです。また、講演会前に地元の学校で講話する機会を持つこともあります。教え子ですが素晴らしい感性の持ち主であり、彼から多くの学びを得ています。

今回は、境野勝悟先生を招いて行われます。境野先生が花巻東高校で講演された内容が一冊の本になっています。日本の心や日本について話をされています。日本人の自然に対する考え方や心の在り方についてわかりやすくまとめてあると思います。私も先生の講演を聞くのは初めてですので楽しみにしています。



聴：素直な心で耳を傾け、注意してきく
書：見聞きしたことや感じたことを集めかきしるす
よく聞き メモし 直ぐにまとめる から知識や記憶が定着すると思うのですが…。残念ですが、これをしていない部員が多くいます。休みを多く与え、短い練習時間だから学習時間はあると思うのですが、かなりの部員が成績不振です。きく メモする まとめる を習慣化するかどうかで大きな差になっています。

子供のころは“なぜ”と問うことが多々あったと思います。自分が分からないことや納得がいかないことに対して、食欲なまでに“なぜ”を連発していたのではないのでしょうか？最近、自分自身に対して“なぜ”と問い掛けることが少なくなってきたように思います。学びを止めた指導者に魅力を感じることはない…。

情熱とは 年齢ではなく 燃える心の力である (平澤興)

年齢や気象条件、様々な問題を言い訳にせずに、情熱を持って進んでいきたいと思えます。酷暑下での練習ですので、“熱中症”対策には十分注意しているつもりです。冷たい飲料やミネラルを摂取するよう努めていますが、朝食や夕食を十分に摂らなければ意味がありません。遅しく成長させるために、ご協力をお願い致します。